

日本学術会議基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同 遺伝学分科会議事要録  
(第26期・第2回)

日時：2024年7月26日(金) 10:00-12:00

形式：Zoom オンライン会議

出席者：岩崎博史, 小林武彦, 荒木喜美, 石川麻乃, 入江直樹, 沖昌也, 片山勉, 颯田葉子, 篠原美紀, 徳富智明, 平田たつみ, 山本卓

議事

(1) 分科会に先立ち、新規加盟された川崎医科大学 徳富智明氏の紹介があった。

(2) 国際遺伝学連合(IGF)との連携

岩崎委員からこれまでの日本学術会議による国際連携やIGFの活動について調査報告があった。多様な研究者の集合である遺伝学分科会として、IGFと連携する方向で調整することは難しいという点で合意に至り、違った形での国際的な連携を模索することとなった。

(3) 中等教育における遺伝学(生物学)のあり方

前回の議論に引き続き、高校における生物学の選択者の減少や、それに伴う生物教師の採用数減少、入試における生物の扱いや難易度などについて広く議論があり、意見交換を行なった。今後分析などを行い、問題解決にむけて議論を継続することになった。

(4) その他

中等教育における遺伝学(生物学)のあり方について、遺伝学分科会として見解をまとめる方向で進めることとなった。

11-12月あたりに開催する次回の分科会で、この件について議論を進める。